



ステレオタイプを取り除く CIRになりたい!

財団法人岐阜県国際交流センター国際交流員
顔 志雄
ガン シユウ

「へえー、全然知らなかった。中国の南方出身の人は餃子をあまり食べず、米を食べるなんて、びっくりした」、「中国の情報技術がそんなに進んでいるの?」、「やっぱりステレオタイプだね。僕はずっとそう思っていた」、「認識が間違っていた。勉強不足だ」などなど。

これが、私の国際交流講座を受けてくれた日本人の反応でした。

中国料理と言えば、餃子、北京ダック、マーボー豆腐。どうも中国人は皆、餃子ばかり食べていると思われるようです。食習慣に限らず、交通、生活など、中国の現状と皆さんの頭の中にある「中国」の間には、かなりギャップがあることがわかってきました。

私は2011年6月から、国際交流員（CIR）として、岐阜県国際交流センターで働いています。岐阜県は、1988年中国の江西省と友好提携を結んでいて、また岐阜市も杭州市と友好都市関係を保っており、数多くの分野において、ともに交流活動が盛んです。したがって、岐阜の皆さんは、

中国に対して、理解や認識が深いものと思込んでいたのですが、実際に会ってみると、意外とそうではなく、いわゆる“ステレオタイプ”

の人が多いことに少々戸惑いを感じています。

「あわせ聞けば明るく、偏り信ずれば暗い」で、少ないメディア報道を鵜呑みにしてしまうと、どうしてもその情報は“ステレオタイプ”になりがちで、外国の事柄を正しく認識するためには、多方向から見て知ることが不可欠だと思います。そして一つ重要な要素として、“ステレオタイプ”を解消するために、国際交流員（CIR）が母国の情報を積極的に客観的に日本の人々に提供することにおいて、重要な役割を果たせると思います。

毎日仕事をするうち、私はこの皆さんの“ステレオタイプ”を取り除きたい気持ちが強くなり、強い信念へと変わってきました。しかし、“ステレオタイプ”を取り除くことは思うほど容易ではありませんでした。

まず、できれば、広い範囲で、国際交流を深めようと苦心しました。初回の国際交流サロンへの応募者がそんなに多くないのを見て、もっと数多くの人々に周知させるために、上司に相談して、図書館などの行政団体にチラシを置かせてもらったほ



学校で中国のことを紹介



東日本大震災支援活動に参加、同僚とフラッグ作り

か、市内に出て積極的にチラシを配りました。もちろん、新しくできた友達にもせっせと声をかけました。

それから、国際交流に関する内容の準備はことさら手を抜くことができず、大変でした。中国の歴史文化から日常生活に至って、さまざまな分野から、日本の皆さんが関心を持つ話題を一つ一つ決めた後、それに関連する資料の準備するのは苦労の連続でした。しかし、これは私にとっても母国を再認識できるとてもいい機会となりました。



岐阜のシンボル長良川、金華山と岐阜城

あたかもプロのように紹介したくて、ある国画の巨匠については、自分で言うのもなんですが、絵の知識がほとんどなかった私が中国画に

ついて猛勉強をしました。観光名所の紹介に当たって、インターネットの恩恵にあずかり、またその当地の友達にも電話で直接教えを請い、忠実な情報収集に終始しました。

中国のことを日本の皆さんに紹介し、よりたやすく納得してもらうために、妙案を考えたりして、努力しています。学校訪問の際には、クイズ形式で、児童の積極性を引き出し、パンダ、食べ物などの紹介に重きを置いて、見事に皆さんの好奇心をくすぐりました。そして、いっぱい調べた後、中国の小学校で流行っている「砂包み投げゲーム」を生徒の皆さんに紹介することに決め、思ったとおりになり盛上がりしました。私も子どもに戻って一緒に楽しみました。その雰囲気は今でも記憶に鮮やかで、撮った写真を見ると、思わず笑顔になります。

国際交流サロン、語学講座、学校訪問などを通じて、中国のことを幅広く深く紹介し、人々の“ステレオタイプ”を取り除こうとする一方、仕事以外の普段の生活の中でも、私は出会った人々と誠心誠意で友好的に付き合い、友達を増やし、草の根レベルの国際交流活動の推進にも心がけて

います。

ある日、二人の日本人が突然私の職場（国際交流センター）を訪れました。名前を呼ばれ、ひょいと見ると、先日、偶然



岐阜駅周辺

公園で出会った人たちではありませんか。交換した名刺の住所を見て、語学講座と国際交流サロンの申し込みにわざわざ来たとわかって、とても嬉しくなり、感動しました。

このように、工作中的感動ややりがいを感じたことは他にもたくさんあります。二回目のサロンの申し込み者数が前回より増えている名簿を見て、炎天下汗をかいて自転車でチラシを配ったことが実を結んだと、心の中に喜びの渦が巻きまわりました。

講座で、私の説明に熱心に耳を傾け、うなずいてくれる人の顔を見ると、達成感があります。学校訪問の後、主催側から理解を深められて、高く評価されたとの感謝の文をいただくと、更なる技を見せたい気持ちがこみ上げます。

国際交流員（CIR）としての日はまだ浅いけれども、一つ一つの経験全てが肥やしとなり、かくある私はステレオタイプを取り除けるCIRになる信念を貫き、国際交流に全力を尽くし、ずっと頑張っていきたいと思っています。



顔 志雄

中国湖南省出身。外交学院の大学院で外交学を専攻。卒業後は江西省南昌市外事弁公室で対日友好交流事業を担当しました。2011年夏にJETプログラムを通して来日。中国江西省と友好提携関係を結んでいる岐阜県に配属され、CIRとして、仕事をしています。趣味は卓球、登山、旅行、友達を作ることなど。歴史、文学、書道にもとても興味を持っています。

做一个消除人们固定思维的 CIR

颜志雄

“嗯？中国南方人基本以吃米饭为主，不怎么吃饺子。我以前对这可是一点也不知道啊！太让人感到意外了！”、“中国的信息技术有那么厉害吗？”、“这就叫固定思维，我一直这么自己以为是了！”、“认识出错了，学习还不够啊！”等等，这些都是日本人在参加我的国际交流讲座时表现出来的各种反应。

在许多日本人看来，一说到中国料理的话，无非就是饺子、北京烤鸭、麻婆豆腐之类，而且认为每个中国人每天都吃饺子。不仅局限于饮食习惯，包括交通、生活等等，我觉得今日中国的现状和日本人脑海中的“中国”印象之间有着比较大的差距。

我从2011年6月开始，以国际交流员的身份在日本岐阜县的国际交流中心工作。岐阜县自1988年就与中国的江西省缔结了友好交流协议。另外，岐阜市和杭州市也保持着友好城市关系。中日双方在许多领域开展了频繁的交流活动。按理来说，身在岐阜的日本人对中国的理解或者认识应该会比较深刻，可是实际情况却让人感觉有点意外。在岐阜，我发现用固定思维去认识中国的日本人还不在少数。

“兼听则明，偏听则暗”，如果仅仅囫囵吞枣似地接受少量媒体报道的话，就会很容易形成固定思维模式。要正确认识国外事物，多角度地去考量和观察显得不可或缺。作为其中的一个重要渠道，国际交流员在消除固定思维、积极客观地向日本人提供有关自己国家的信息上可以扮演重要的角色。

在这边每天工作的过程中，我慢慢有了想消除这固定思维的想法，而且这种想法逐渐变成了一种强烈的信念。但是，消除固定思维远没有想象中的那么容易。

首先是在如何扩大范围、加深国际交流上费了不少功夫。因为第一次来参加国际交流沙龙的人不怎么多，为了让更多的人来参加这样的交流，我跟担当商量决定在图书馆等一些日本行政团体放置国际交流沙龙的宣传单。另外，带着宣传单我还到市内满街散发。当然，还拜托了一些在岐阜新交的朋友。

其次是关于国际交流的准备事宜马虎懈怠不得，要做好也挺不容易。从中国的历史文化到日常生活的方方面面中确定一个大家所关心的话题后，再去准备相关资料也常常是大费周章节、非常不易。当然这种准备的过程，对我来说其实也是让自己重新认识祖国的一个过程。

为了能够尽量使讲述内容更加具体深刻，在介绍一位国画大师时，没有任何绘画知识的我临阵磨枪，发狠学习了一番有关绘画的基础知识；在介绍中国的游览胜地时，除了通过网络查找相关资料外，我还特意打电话给在那里生活过的朋友，尽量寻找一些最翔实的资料。

在介绍中国时，为了让大家更好地理解与接受，我努力思考探寻一些方法和技巧。如在访问学校时，我通过采取提问方式进行授课，很好地调动了孩子们的积极性；通过重点介绍中国的熊猫和美食，更是让大家兴趣陡增。另外，在通过系列调查后，我选择了一款在中国流行的“丢沙包”游戏向日本的学生介绍，结果和预想的一样，气氛相当热烈，我也忍不住加入了孩子们的游戏。那份童趣、那份记忆，至今依然明了清晰。每次翻看当时所拍照片，都会不由自主的笑起来。

为了能够消除日本人心中的固定思维，除了一方面通过举办国际交流沙龙、汉语讲座以及进行学校访问，广泛而深入地向大家介绍中国外，另一方面，在工作之余，我通过真心实意广交朋友，不断在推动民间友好交流上下功夫。

有一天，有两个日本人突然来到了国际交流中心。我一看，这不正是几天前在公园里偶然遇到的日本人吗？后来得知他们是根据当时我留下的名片，专程来这边申请听汉语讲座和国际交流沙龙的，他们的到来让我觉得十分高兴和感动。

如此这番，工作生活中的感动或者是让人觉得有点成就感的事情其实还有许多。当看到第二次报名参加国际交流沙龙的人数有了增加时，我觉得在炎炎夏日下骑车去散发传单的劳动终于有了回报，心中之喜溢于言表；当看到那些参加汉语讲座中，十分认真倾听我的阐释并且不时点头称是的日本人的时候，我从中感受到了工作的成就感；当访问学校结束之后，收到来自主办方的感谢信时，我内心深处期待下次给大家一个更大的惊喜。

虽然作为国际交流员开展工作的日子还很短，但是所有这些经历全都成为了我继续奋斗的精神食粮与动力，我将一如既往地坚定这一消除固定思维的信念，全身心投入到国际交流活动中，不遗余力、永不懈怠。

中国語